

「関西広域産業ビジョン ～新たな飛躍に向けた挑戦～」の進捗管理について

進捗管理の考え方

- ・ 長期的な展望を有するビジョンの進捗状況の参考とするため、参考指標を設定し、毎年、把握・分析を行い、分析結果を次年度の施策展開に活用
- ・ 今後5年を見据えて取り組む戦略に基づく事業については、年度ごとに目標を設定し、目標に対する達成状況を評価

関西が目指す将来像

おおむね20年後を展望して
実現を目指すもの

世界の中で輝き、 日本の未来を牽引する関西

国内外から「人・モノ・投資・情報」が集まり、
イノベーションが生まれる地域

多様な人々が活躍・共生できる関西

多くの人々を引きつける、豊かで持続可能な
生活圏を形成する魅力ある地域

【目標】

2040年度の関西（広域経済圏）の

- ▶ 経済・産業の国内シェア25%
- ▶ GRP約1.8倍（2010年度比）

の約180兆円

参考指標（案）

「関西が目指す将来像」の実現に向けて、進捗状況が把握できる指標を設定する。

【世界の中で輝き、日本の未来を牽引する関西】

- イノベーションが生まれる地域
 - ・ 1人当たりGDP（内閣府「県民経済計算」）
 - ・ 産学共同研究件数（文部科学省「大学等における産学連携等実施状況調査」）
 - ・ 特許出願件数（特許庁「特許行政年次報告書」）
 - ・ 域内公設試 受託研究・共同研究件数（各公設試 業務年報 等）
 - ・ 世界の大学ランキング（タイムズ・ハイヤー・エデュケーション調査 等）

○「人・モノ・投資・情報」が集まる地域

- ・ 域内への企業立地（経済産業省「工場立地動向調査」）
- ・ ビジネスインバウンドの状況（出入国の状況：羽田・成田と関西）（APIR資料）
- ・ 国際貿易取引の状況（財務省「貿易統計」）
- ・ 製造品出荷額（経済産業省「工業統計調査」）

【多様な人々が活躍・共生できる関西】

- 多くの人々を引きつける魅力ある地域
 - ・ インバウンド（長期滞在の状況、京都・大阪以外への周遊状況）（APIR資料）
 - ・ 来日外国旅客数（観光庁「宿泊旅行統計調査」）
 - ・ 旅行消費単価（観光庁「訪日外国人消費動向調査」）
 - ・ 住みやすい都市ランキング（エコノミスト・インテリジェンス・ユニット調査 等）
 - ・ 訪問してみたい都市ランキング（ユーロモニター国際調査 等）
- 多様な人材が活躍する地域
 - ・ 生産年齢人口（統計局「労働力調査」）
 - ・ 女性、高齢者の有業率（統計局「労働力調査」）
 - ・ 若者の地元就職率（マイナビ大学生Uターン・地元就職に関する調査 等）
 - ・ 外国人の働きやすさ（日本で働く外国人の意識調査）
 - ・ 有資格者別外国人数（法務省「在留外国人統計」）

関西経済活性化戦略

今後5年を見据え
重点を置いて取り組む戦略

（戦略イメージ）

【戦略1】関西の優位性を活かした
イノベーション創出環境・機能の強化

【戦略2】
高付加価値化による
中堅・中小企業等の
成長支援

イノベーションが
生まれる関西

【戦略3】
個性豊かな地域の
魅力を活かした地域
経済の活性化

関西を支える人材の確保・育成

事業目標・評価（案）

- 事業目標の設定について
「関西広域産業ビジョン」を実効あるものとしていくため、戦略に基づく具体的な施策について、年度ごとに事業計画を策定し、各事業の達成目標を設定する。
- 進捗状況報告、自己評価について
PDCAサイクルによる進捗管理を行うため、各事業の進捗状況について、半期ごと（9月・3月）に報告書を作成する。
また、期末報告の際に、事業計画に定めた目標の達成状況について、自己評価を行う。

＜達成状況の評価基準＞

評価区分		評価基準
A	達成	掲載の目標（取組・指標）を達成
B	部分達成	掲載の目標（取組・指標）をほぼ達成（数値目標の概ね9割を達成）または複数の取組・指標を設定している場合の一部を達成
C	未達成	掲載の目標（取組・指標）を未達成

「関西広域産業ビジョン」推進会議における事業評価

【期中（9月頃）】

- ・ 事業の進捗状況に対する助言を受けるとともに、改善が必要な事業に関する意見交換を行う。

【期末（3月頃）】

- ・ 参考指標の分析結果に関する意見交換を行う。
- ・ 事業目標の達成状況（自己評価）に対する助言を受けるとともに、改善が必要な事業や次年度の事業計画に関する意見交換を行う。